

# 第1回次期県民運動検討委員会（意見の整理）

未だ11万人を超える県民が県内外で避難生活を続けている状況の中で、子どもからお年寄りまで、障がいのあるなしにかかわらず、多くの県民一人一人が主体的にかかわっていくことができるような、県民運動について検討。

## 課題

- ・子どもたちの体力低下
- ・メンタルを含めた健康への関心
- ・原発事故から学んだこと

## 具体的なテーマ案

- スポーツをとおした健康づくり
- 高齢者の健康
- 子どもの体力向上
- ふるさとを後世に繋ぐ地域づくり
- 福島に来てよかったと思えるおもてなし
- 再生可能エネルギーに関する取り組み
- 県の総合計画等と絡めたもの

## 基本的な考え方

- ・わかりやすいもの
- ・身近なもの
- ・取り組みやすいもの
- ・過去の県民運動を継承
- ・行政主体でないもの

## 推進方策

- ・参加することで、直接自分に成果が得られる形
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックやその他のイベント等と絡めていく
- ・一人一人が県外に向けて発信していく

## 目指すべきもの

- ・県民一人ひとりの幸せ
- ・心の復興
- ・夢、希望